

## 第II部 資料

# 第II部 資料

## 付録 暗記

I　おやじに会ったときに、  
M　うつむけたままでいたんだけど、うちのお父さんとお母さんに開放的な感  
S　じがいいなって思われて、他の学校（駒場東邦）を受験しました。ここは伝統があって是  
E　じよかったときと、成績がよかったです。  
T　お母さんは、お父さんと一緒に、お子さんたちが成績がいい年間に  
R　お父さんは、お母さんと一緒に、お子さんたちが成績がいい年間に

### (1)中学受験者へのインタビュー調査

#### <調査の目的>

中学受験を経験し、現在私立中学に在籍の8名の生徒に、受験の動機からその時の様子など  
グループインタビューを行なった。

#### <調査の時期>

1989年 3月25日

#### <対象>

今年の春（1989年1～2月）中学受験を体験した8名の小学6年生。

A君	早稲田実業中学校	I君	早稲田実業中学校
Mさん	大妻女子中学校	O君	駒場東邦中学校
E君	早稲田中学校	R君	学習院中学校
S君	駒場東邦中学校	T君	麻布中学校

## 中学受験を決めた時期とその動機

司会 中学校受験を終えた今の気持ちを聞かせて下さい。

A 今の気持ちは終わってホッとしたような感じです。

M そんなに死に物狂いで勉強したんじゃないからすごく楽しかった。

S とても疲れました。

I 塾が結構楽しかったから、楽しくできた。

O 合格したから言えるのかもしれないけど塾とかで友達と色々話せて楽しかったです。

T 疲れたけど、塾に行って楽しかった。

司会 中学受験を決めたのはいつ頃ですか。

A 5年の始まったころです。

M やっぱり5年のはじめから。

S 最初のうちは受験をしようとは思わなかったんですけど、結局は4年の始めごろからやることになり、5年の最初で受験を決めました。

I 4年の終りからです。

O 4年の2月ぐらいから。

司会 どうして中学受験をするようになったのですか？

T お兄さんが受験していたのでその雰囲気に乗せられて。

R 僕もT君と一緒に。

O 中学まで続いている国立の小学校へ通っていたけれど、そこがあんまり好きじゃなかったので。はじめの方はまだよくわからなくてただ塾に行って勉強したり、それ位だったんですけど、そのうち成績が上がったので受験することにしました。

I お父さんとおじいちゃんが早稲田を卒業していたから、ぜひ行ってみたいと思った。

S 僕のうちは4月にI市の方に引っ越すのです。ところがその引っ越し先の中学校が、人数が少なくて運動会も他の中学と一緒にやったという話を聞いて、あまり良さそうにないでやっぱり自分で受験してみようかなと思いました。

E お父さんが同じ学校に中学から通っていたので、受験を考えました。

A 従兄が高校受験で苦労しているのを見て、今のうちに受けておいた方がいいかなと思って受けました。

司会 今の話を聞いているとほとんど皆さん自分で決めたようですね。ではどうして受験をしたかという点をもう少し教えて下さい。

T 僕はお父さん、お母さんは直接には何も言ってくれなくって、自分で学校を見にいってそれで決めたんです。

司会 麻布中学のどこが魅力的だったのですか？

T なんか開放的で自分で何でもやらせるって感じ。

司会 麻布の場合、大学にはいるとき、また受験しなければなりませんけどそれは気にならないのですか。

T 全然気にしませんでした。

O 僕は始めは麻布を受けようとしていたんだけど、うちのお父さんとお母さん開放的な感じは向いてないと言われて、他の学校（駒場東邦）を受けました。ここは伝統があって見に行った時すごく印象がよかったです。

M 両親がすごく大妻を気に入っていて、私も文化祭に行った時に、すごく楽しそうな学校だと思ったから。それで受けました。

## 小学校での授業の様子と先生について

司会 受験することをクラスの友達に秘密にしていた人は手をあげて下さい。（S君のみ）学校の授業は皆さん、塾で猛勉強しているので退屈ではなかったですか。小学校での授業の様子を教えて下さい。

T やっぱりすごく退屈で授業なんて遊んじゃって。

R 先生がね、「塾に行ってる人はもう学校の勉強は終わっているんだから、授業の邪魔さえしなければ何をやってもいいからとにかく静かにしてろ」といわれました。まあ、ゲームとかすると怒られるけど。

司会 それじゃ受験する同士で遊んでいるのですか。

O ほとんど受験するからみんな遊んでる。

I 先生の教えかたがうまいから疑問も結構出てくる。

S 僕達の先生は社会の授業がとても面白い。塾とかではサッサと進むけど学校ではゆっくりと面白く説明してくれるから良くわかって納得できるし、あとはわからない人に教えてあげたりするから、そんなに退屈ではなかった。

A うちの先生も社会が詳しかったので結構聴けたけど、僕の考えと合わなかったりすると、色々言い争ったりして授業を長引かせたりした。

司会 中学受験に関して学校の先生に相談したことのある人はいますか。……誰もいないようですね。受験について相談するのはすべて塾の先生なんですか。

I 相談じゃないけれど、学校の文集を作る時の委員をやろうとしたら、学校の先生が「それは重荷だから受験をしない人に代わってもらひなさい」といわれた。

司会 先生が気を遣ってくれたんですね。

S 僕もそういうことがあった。休み時間に受験の話をしていたら、よく先生に怒られるというか、注意されるのであんまり学校では受験の話はしたくなかった。

## 進学塾の魅力

- 司会 中学受験の感想の中に塾が楽しかったという人が多かったけれどその塾の魅力とは何だったのでしょうか。
- I 僕の通った塾はS塾です。そこは先生が面白いし、授業が終わってもできるまで残したりして、すごかったんだけど、それで疑問が残らなかったから良かったです。
- 司会 何時位まで教えてくれたんですか。
- I 5時～10時半くらいです。クラスは20人位で先生は国・算・理・社の4人でした。
- E 僕の通っていた塾は先生が良くて時々話をはずして違うことをやったり、クラスのみんなが楽しかったので良かった。
- 司会 O君、R君、T君は同じ塾でしたよね。
- T 1クラス5人で授業がわからない所があったら先生に聞けば教えてくれる。1問1時間位かけたりすることもある。
- R 僕はこの3人の中で一番ワルだったから怒られることが必ずあった。けれどホワイトボードのペンで顔に書かれたり、楽しい怒られ方だったから不満はなかった。
- 司会 塾に行かなければ絶対に合格できなかったと思う人は………？（R君を除いて全員手をあげる。）
- R いや、友達が塾に行かずに受かったから。だけどその子のお母さんがすごく一生懸命に教えていた。

## 受験勉強のために我慢したこと

- 司会 皆さんの中学校受験にあたって我慢してきたことってどんなことですか。
- S 友達とかみんな一緒に遊ぼうと声を掛けてくるんだけど、塾があったりして、なかなか遊べなくなったりして、その辺を我慢しました。
- A 僕は塾の他にも色々なものを習ってたんだけど、塾だけに絞って剣道や習字などやめちゃったり、そういうことを我慢しました。
- E 塾で見たいテレビが見れなかった。
- 司会 ビデオに撮ったりしなかったのですか？
- I 僕はビデオで見ていた。
- 司会 結構学校の友達でテレビ番組の話があると思うんですけど、そういう時はどうしていましたか。
- T 特に困らない。そういう連中の話っていうのは、関わんかったから。
- R 一応テレビ欄は新聞で見ておいて、楽しそうなものがあったら、夜遅くなってもいいから見ちゃうけど、面白くなさそうなのだったら、見ない。友達が話しても、他の話に切り替えようとして、一生懸命だった。

## スランプに陥った時

- 司会 テストで思うように成績が上がらなかったり、問題が解けなかったりそんなスランプに陥った時はどうしていたのですか。
- S まあ今度良い成績を取ればいいと思って。そんなに落ち込みはしなかった。
- 司会 お母さんとかお父さんとかに励まされましたか、それとも怒られましたか？
- S 怒られはしない。じゃ、今度頑張りなさいって言われただけ。
- R 僕の場合は、授業の時もムッとしてたり、テストやあって点数上がるんないしね。学校とかでもボーとして、学校の先生とか塾の先生とか家でもメチャクチャに言われて、だけど、2ヶ月位したら直っちゃって。
- T この3人で算数なんか競い合って、闘争心燃やして、スランプになるとすぐ点数落ちるから分かるんだけど、そうしたら入試問題をやり直したりして乗り切った。
- M 悪かったときはそれが自分の実力だと思ったから、別にそんなに考え込まないんです。今度そういう失敗とか起こさないようにするだけです。
- 司会 最後に皆さんの将来の夢を教えて下さい。
- A 第一志望はパイロットだけど乗り物の運転だったら何でもいいです。
- M えっと、雑誌記者か考古学者になりたい。
- E 僕は電車関係の仕事がしたい。
- 司会 エンジニアになりたいのですか？
- E やっぱり動かす方がしたい。
- S 僕は科学者になりたい。理科が好きなのでそういう自分の好きなことができて人の役にも立てるでの。
- I スポーツ関係の仕事。
- R やりたいのは沢山あるから決めてない。動物が結構好きだから動物に関係することやりたいなと思う。
- T わかんないけど一応医者になりたい。
- 司会 長い時間どうもありがとうございました。それぞれの夢にむかって中学生活をエンジョイして下さい。